

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 6 日

| | | | | |
|------------|-----------|----------|--|------------|
| 評価対象事業 | | 評価者 | 交通政策課長 萩野谷 幸男 | |
| 共創-06 | 重点事業 | 交通体系整備事業 | <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 | 主管課 交通政策課 |
| | まち・ひと・しごと | | <input type="checkbox"/> 法定受託事務 | 関連課 |
| 総合計画上の位置付け | 分野 | 総合交通 | 施策の方針 | 道路・交通体系の検討 |

1 事業の目的

| | |
|----|--|
| 対象 | 市民等 |
| 意図 | 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。 |
| 効果 | 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。 |

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 歩行者専用道路の小町大路について、車両の速度抑制策の検討を進めた。なお、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、鎌倉市交通計画検討委員会の開催等の業務を年度内に完了することが不可能となったため、翌年度へ繰越しを行った。 (仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けて、鎌倉市交通計画検討委員会特別委員会(国の行政機関等で構成)を開催し、技術的側面や法的側面の条件整理を行った。また、国に対し、(仮称)鎌倉ロードプライシングの早期実現を目指したより一層の制度的・技術的支援、並びに短期的な渋滞対策に関する技術的支援についての要望書を提出した。 |
|---|

3 事業費等基礎データ

| データ区分 | 30年度(2018年度)決算 | | 01年度(2019年度)決算 | | 02年度(2020年度)当初予算 | | 備考 |
|---------|----------------|----------|----------------|---------------|------------------|----------|------------------|
| | 人 口 | 世 帯 数 | 人 口 | 世 帯 数 | 人 口 | 世 帯 数 | |
| 人口等のデータ | 176,308人 | 81,763世帯 | 176,436人 | 82,444世帯 | 176,608人 | 83,058世帯 | ・各年3月31日(住民基本台帳) |
| 事業の対象者数 | | | | | | | |
| 運営資源状況 | 決算値(千円) | 30,733 | 120 | 当初予算(千円) | 16,331 | | |
| | 国県支出金 | 14,753 | | 国県支出金 | | | |
| | 地方債 | | | 地方債 | | | |
| | その他 | | | その他 | | | |
| | 一般財源 | 15,980 | 120 | 一般財源 | 16,331 | | |
| 事業経費運営 | 人員配置数 | 3.4 | 3.4 | 人員配置数 | 2.3 | | |
| | 人件費(千円) | 26,968 | 27,443 | 人件費(千円) | 18,652 | | |
| | 総事業費(千円) | 57,701 | 27,563 | 総事業費(千円) | 34,983 | | |
| | 市民1人当りの経費(円) | 327 | 156 | 市民1人当りの経費(円) | 198 | | |
| | 対象者1人当りの経費(円) | | | 対象者1人当りの経費(円) | | | |

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

| | | | |
|-------------------|--|---------------------------------|--|
| 効率性 | 事業費に削減余地はないか | 2. ない | |
| | 関連・類似事業との統合はできないか | 2. 統合に向けた検討は可能 | |
| 妥当性 | 事業の実施に対する市民ニーズはあるか | 3. 変わらずにある | |
| | 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか | 3. 廃止・休止による影響は大きくある | |
| 有効性 | 事業の成果は得られているか | 2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である | |
| | 事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか | 3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している | |
| 公平性 | 受益者負担は公正・公平か | △.負担未導入 | ○-1. 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある |
| | | | ○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している |
| 協働 | 市民等と協働して事業を展開しているか | ○.協働実施済 | 協働実施済の場合のパートナー 市民、商工業者、交通事業者、関係行政機関等 |
| | | | |
| 事業内容の方向性 | <input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒ | 見直しの種類 | 見直しの内容 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 |
| | | | 事業へ統合 |
| 予算規模の方向性 | <input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する | 事業内容・予算規模の方向性設定の理由 | ・(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた社会実験を行うにあたり、予算規模を拡大する。 ・財源の一部は、社会実験制度等、国・県の補助制度の活用を検討を図る。 |
| | | | |
| 総評(評価に対する考え方、根拠等) | ・鎌倉地域の交通渋滞解消に向けた自動車利用の抑制策等の検討については、平成8年に20の施策を位置付け事業推進を図り、一定の成果は出ている。しかし、20年以上経過する中で、市内道路の混雑状況は大きく変わることはなく、その解消に向けた抜本的な対策を求める市民のニーズが高いことから、事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい。 ・令和2年1月15日に、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援等を要望した。 ・自動車利用の抑制策の一つである(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた、法的な課題や課金方法等について引き続き検討を行い、令和3年度の社会実験の実施を目指していく。 | | |

| | | |
|--|---|--|
| <p>令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)</p> | <p>・鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめにおける20の施策について、実現可能性を踏まえた整理・検討を行うとともに、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた法制度や課金の技術的方法、事業費の確保、実施主体等の課題について検討する必要がある。</p> | |
| <p>課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組</p> | <p>・小町大路の歩行者尊重道路について、交通管理者等との協議・調整・計画見直し等を行い、ナッジ(行動インサイト)の観点を取り入れた形で計画案の再検討し、施工案の取り纏めを行った。 ・令和2年1月8日に、第3回鎌倉市交通計画検討委員会・特別委員会を開催し、(仮称)鎌倉ロードプライシングに関する検討状況の共有、(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討に係る課題と短期的な渋滞対策、今後の進め方についての検討を行った。 ・令和2年1月15日に、「ロードプライシングの早期実現に関する要望書」を国土交通省に提出し、ロードプライシングの早期実現を目指した、より一層の制度的、技術的な支援等を要望した。</p> | <p><input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決</p> |
| <p>未解決の課題、新たな課題とその理由</p> | <p>・鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめにおける20の施策について検討を続け、実現に向けた取組を進める。 特に歩行者尊重道路については、ワークショップ等を開催のうえ、1年に1路線を目途に整備を進める。 ・国・県等と連携を図りながら、(仮称)鎌倉ロードプライシングの実施に向けた法的な課題や課金方法、事業費の確保、実施主体等の課題について整理し、解決するための手法を模索し、令和3年度の社会実験を目指していく。 ・(仮称)鎌倉ロードプライシングの検討状況を見据えながら、鎌倉地域地区交通計画の策定を行っていく。</p> | |

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

| | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| 比較事項 | | | | | | | | |
| 団体名 | | | | | | | | |
| 他市実績 | | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方</p> | | | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|

◎ 事業実施に係る指標

| 指標の内容 | | 単位 | 指標の傾向 | 備考 | | | | |
|-------------|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|
| 当該指標を設定した理由 | 年次 | H26(2014) | H27(2015) | H28(2016) | H29(2017) | H30(2018) | R01(2019) | |
| | 目標値 | | | | | | | |
| | 実績値 | | | | | | | |
| | 達成率 | | | | | | | |

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p>当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方</p> | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|--|--|--|--|--|